

【昭和34年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
1	34. 5. 30	「農協共済事業の実態と問題」	滋賀県農協会館	43
2	7. 11	「農協合併をめぐる諸問題」	関西電力ビル	47
3	9. 19	「農協の組織をめぐる諸問題」	奈良県信連	34
臨時	10. 13	「農業法人をめぐる諸問題」	京都大学農学部	54
4	12. 5	「青果物共販に関する諸問題」	兵庫県社会事業会館	34
5	35. 1. 23	「青果物共販をめぐる諸問題(続)-流通組織を中心に-」	農林中央金庫大阪支所	63
6	3. 12	「農業協同組合の体質改善」	浪速荘	71

○近畿農協研究会発足(桑原正信が研究会設立趣意書を送付して呼びかけ、研究会打合せ会を京都大学農業簿記研究調査所(当時)で開設)。

○会報第1号を発行(7月11日)。

【昭和35年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
7	35. 5. 14	「農業協同組合の体質改善(続)」	滋賀県教育会館	57
8	7. 2	「農協の営農指導事業をめぐる諸問題」	枳穀邸	49
9	10. 1	「農協の指導金融をめぐる諸問題」	京都大学農学部	51
10	11. 12	☆「世界の農業協同組合」	日赤会館	250
11	36. 1. 21	「農林金融における農協の機能」	奈良県信連	不明

○「近畿農協研究会会則」を定める。

○会報名を「近畿農協研究会会報」に改称(第7号～56号)。

【昭和36年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
12	36. 4. 15	「農協の購買事業の実態と問題点」	兵庫県農業会館	不明
13	5. 27	「農業構造政策と農協の立場」	大阪府農林会館	69
14	7. 22	「系統農協における連合会組織の問題点」	近畿ストア	63
15	9. 30	「米と農協」	滋賀合同ビル	36
16	11. 18	☆「農業の近代化と農協の役割」	京都大学	不明
17	37. 1. 20	「近郊農協の実態と展望」	京都府信連	51

○専門委員会が実態調査を行う(調査農協は、岩岡、垂水信用、加古、尾ノ上の4農協)。

【昭和37年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
18	37. 5. 12	「農業構造改善事業と農協」	奈良県信連	83
19	7. 21	「農業協同組合と農政活動」	兵庫県農業会館	39
20	10. 27	「農協合併の現状と問題点」	農林年金会館	45
21	12. 8	「農業生産法人と農協」	滋賀県教育会館	33
22	38. 2. 23	☆「農業問題と農協」・「農協-新しいビジョンのために-」	大阪市教員会館	不明

○「農協-新しいビジョンのために-」(執筆者：桑原正信、西本嘉雄、山田弘、山本修、吉田忠、藤谷築次)を富田協会より発刊。

【昭和38年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
23	38. 4. 20	「農協法をめぐる諸問題」	和歌山県農協会館	35
24	6. 15	「系統三段階制の諸問題」	奈良県信連	59
25	8. 24	「農協中央会の役割と問題点」	兵庫県農業会館	59
26	10. 26	「農協中央会の役割と問題点(続)」	枳穀邸	42
27	12. 14	「農協購買事業における経済連の役割」	大阪府厚生会館	46
28	39. 2. 15	「合併大規模農協の経営組織問題」	滋賀県教育会館	52

【昭和39年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
29	39. 5. 30	「農協合併の進展と信連の在り方」	和歌山県農協会館	53
30	7. 25	「農協共済事業の進展と問題点」	奈良県信連	34
31	9. 19	「農協近代化と職員問題」	兵庫県農業会館	45
32	11. 21	「農協近代化と役員問題」	農林年金会館	30
33	40. 1. 30	「合併大規模農協と組合員関係」	大阪府農業会館	42
34	3. 20	「農協事業と生活面事業」	滋賀県教育会館	不明

【昭和40年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
35	40. 5. 27	「農協青年部・婦人部の諸問題」	和歌山県農協会館	39
36	7. 17	「農業協同組合法の再検討」	奈良県信連	不明
37	9. 18	「農協役職員の教育問題」	兵庫県農業会館	26
38	11. 27	「金利問題と農協経営」	関電ホール	12
39	41. 1. 29	「農協購買事業の近代化について」	大阪府農林会館	38
40	3. 19	「合併農協と支所組織について」	滋賀県教育会館	34

【昭和41年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
41	41. 5. 21	「合併農協と購買事業」	和歌山県農協会館	31
42	7. 23	「協同組合原則の再検討」	奈良県信連	36
43	9. 3	「農協制度をめぐる諸問題」	兵庫県農業会館	55
44	11. 12	「農協合併と系統事業の再検討(2)-農協合併と販売事業について-」	関西電力ビル	40
45	42. 1. 28	「農協合併と系統事業の再検討(3)-農協合併と信用事業について-」	城南会館	39
46	3. 18	「農協合併と系統事業の再検討(4) -農協合併と営農指導事業について-」	滋賀会館	26

○「協同組合原則の再検討」(桑原正信、山本修、藤谷築次)を家の光協会より発刊。

【昭和42年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
47	42. 5. 13	「近畿における農協基本問題」	滋賀県農協職員研修所	不明
48	7. 15	「組織問題」	奈良県信連	不明
49	9. 23	「事業問題」	和歌山県農協会館	不明
50	11. 25	☆「近畿農業と農協ビジョン」	京都府農協会館	不明
51	43. 3. 23	「今後の職員研修はいかにあるべきか」	兵庫県農業会館	48

【昭和43年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
52	43. 5. 18	「農協変革と農協法の改正」	大阪府農林会館	48
53	7. 20	「農協と組合員の間をより緊密にするための具体策について」	滋賀会館	34
54	9. 28	「農協長期構想とその問題点-営農団地構想を中心として-」	奈良県信連	32
55	11. 16	「農協長期構想における畜産物の流通をめぐる」	和歌山県農協会館	26
56	44. 2. 15	「近畿における農協長期構想の意義と問題点」	京都府農協会館	44

○(社)農業開発センター(会長：桑原正信)業務開始。これに伴って事務局所在地を京都大学農林経済学教室より同センターへ移す。

【昭和44年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
57	44. 6. 7	「新都市計画法と農協の対応について」	兵庫県農業会館	不明
58	7. 19	「自主流通米と農協の対応について」	奈良県信連	35
59	9. 20	「農協における出資高・利用高配当の諸問題」	和歌山県農協会館	34
60	12. 6	☆「激動期の農政と農協の対応」	大阪府商工会館	343
61	45. 2. 28	「第2次構造改善事業と農協の対応」	滋賀会館	19

○研究会のあり方についてのアンケート調査を実施。

○研究会開催日時を土曜日午前10時～午後3時とする(従来は土曜日の午後)。

○会報を「近畿農協研究」とする。

○研究例会4回、研究大会1回という開催スケジュールが定着。

【昭和45年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
62	45. 6. 20	「農協における組合員教育の今後のあり方」	京都府農協会館	58
63	8. 22	「農地転用と農協の対応-農協法・農地法の改正に関連して-」	大阪警察会館	50
64	11. 7	☆「系統3段階制の全面的再検討」	京都府農協会館	203
65	46. 1. 23	「『生活基本構想』の意義と具体化の方向」	兵庫県農業会館	70
66	3. 13	「金融市場の新しい動向と系統農協の対応」	奈良県農協会館	54

○単協会員制度を新設。

○事務局会議を正式に設置。

○「近畿農協研究会のしおり」を発行。

【昭和46年度】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
67	46. 7. 3	「農協の広域合併の課題と方向」	和歌山県民文化会館	96
68	8. 21	「都市化地域の農協の現状と今後の進路」	大阪府農林会館	52
69	10. 16	☆「米穀流通の新段階と農協の対応課題」	近江八幡農協	98
70	12. 11	「経済情勢の激変と農協の農政活動」	京都府農協会館	46
71	47. 2. 19	「経済連の販売機能の現状と問題点」	兵庫県農業会館	36

【昭和47年度：『農協の経営問題』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
72	47. 6. 17	「農協経営者の実態と問題点」	奈良県農協会館	61
73	8. 19	「農協経営は危機を迎えつつあるか」	和歌山県農協会館	52
74	10. 28	☆「『全農』設立の意義と今後の課題」	大阪府農林会館	136
75	12. 9	「組合員からみた農協の基本問題」	滋賀県さざなみ荘	54
76	48. 2. 10	「農協における職員問題と今後の対応課題」	京都社会福祉会館	72

- 2 回目のアンケートを実施。
- 会報購読会員を新設。
- 研究会の年間統一テーマを設定。

【昭和48年度：『農協の経営問題-事業部門別検討』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
77	48. 6. 30	「『農協経営総点検運動』の成果と今後の課題」	兵庫県農業会館	45
78	8. 18	「生活物資購買事業推進の課題と方向」	奈良県農協会館	73
79	10. 12	☆「『第2次総合3か年計画』の意義と問題点」	京都社会福祉会館	121
80	12. 8	「農協の販売事業推進の課題と方向」	和歌山県農協会館	36
81	49. 2. 9	「信用事業の現状と問題点」	大阪府農林会館	48

【昭和49年度：『単協の大型化と系統組織問題』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
82	49. 6. 29	「単協の大型化と系統組織をめぐる諸問題」	滋賀会館	61
83	8. 24	「未合併農協の諸問題」	奈良県農協会館	76
84	11. 16	☆「系統農協の組織整備の課題と方向」	大阪府農林会館	117
85	12. 7	「合併大規模農協の諸問題」	兵庫県農業会館	50
86	50. 2. 8	「合併推進をどう考えるか」	和歌山県農協会館	38

- 『現代農業協同組合論・全3巻』(桑原正信監修、農業開発研修センター編)を家の光協会より発行。

【昭和50年度：『系統事業方式の現状における問題点と新しい系統事業方式のあり方』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
87	50. 6. 21	「系統販売事業方式の現状と問題点」	大阪府農林会館	31
88	8. 26	「系統購買事業方式の現状と問題点」	滋賀県農協会館	50
89	10. 17	☆「農協の農政活動をどう評価するか」	京都府農協会館	144
90	12. 10	「系統総合オンライン構想と農協事業の今後のあり方」	大阪府青少年会館	80
91	51. 2. 3	「系統共済事業の現状と今後のあり方」	奈良県農協会館	85

【昭和51年度：『農協の財務及び管理運営問題』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
特別	51. 6. 4	「協同組合と労働組合」(家の光協会共催)	京都府農協会館	—
92	6. 26	「減速経済下の農協経営の基本問題」	和歌山県農協会館	65
93	8. 7	「農協の財務と経営収支の動向」	兵庫県農業会館	67
94	10. 16	☆「『協同活動強化運動』の課題と方向」	京都府農協会館	105
95	11. 27	「農協の労務と賃金問題」	滋賀県農協会館	48
96	52. 2. 5	「農協の監査をめぐる諸問題」	奈良県農協会館	84

【昭和52年度：『組合員組織強化の課題と方向』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
97	52. 6. 18	「組合員組織の現状と問題点」	大阪府農林会館	43
98	8. 6	「農協婦人部の現状と問題点」	橘ビル	103
99	9. 17	「作目別・目的別組織の現状と問題点」	兵庫県農業会館	31
100	11. 26	☆「日本農業の今後の方向と農協運動の課題」	京都府農協会館	126
101	53. 3. 11	「組合員組織の在り方と育成策」	滋賀会館	51

- 研究会100回記念大会及び記念パーティーを京都府農協会館で開催。また、記念会報『近畿農協研究の歩み』を発行。

【昭和53年度：『農協の地域農業対策をどう進めるか』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
102	53. 7. 8	「水田利用再編対策と農協の対応」	奈良県農協会館	95
103	8. 19	「農協は都市農業にどう取り組むべきか」	大阪府農林会館	62
104	11. 4	☆「農産物輸入圧力と系統農協の対応」	京都府農協会館	86
105	54. 1. 27	「営農指導員はどうあるべきか」	紀国会館	83
106	3. 17	「農協の営農計画づくりはいかにあるべきか」	兵庫県農協会館	53

【昭和54年度：『系統組織の機能強化と中央会・連合会の課題』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
107	54. 6. 30	「系統経済事業の強化と経済連の課題」	滋賀会館	89
108	8. 18	「系統共済事業の強化と共済連の課題」	奈良県農協会館	63
109	11. 17	☆「全国農協大会の決議をどういかすか」	京都府農協会館	124
110	55. 1. 19	「系統信用事業の強化と信連の課題」	大阪府農林会館	90
111	2. 23	「系統組織の機能強化と中央会の課題」	和歌山県農協会館	89

○事務局業務の遅滞を解消し、責任ある業務を図るため、事務局会議に事務局長を置く（藤谷築次が初代事務局長となる）。

○会報を以下のように刷新する。①表紙の台紙を変更し、年度ごとに色を変える。②タイプ印刷からオフセット印刷にし、読みやすくする。③従来の記録集的なものから、研究誌的および会員相互の交流の場となるものへと飛躍させる（「農協論壇」、「研究会によせる」のコーナーの新設、参考文献の紹介など）。

【昭和55年度：『近畿における農協の特質と問題点』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
112	55. 7. 10	「近畿農協の組織面の問題点と改善方向」	兵庫県農協会館	49
113	9. 11	「農協の事業面の基本問題と対応策」	滋賀県農協会館	73
114	11. 22	☆「食管制度をどう考えるか」	京都府農協会館	105
115	56. 1. 21	「農協の経営面の基本問題と対応策」	奈良県農協会館	47
116	2. 24	「近畿における農協の今後の方向と課題」	大阪府農林会館	37

○組織規模、予算規模の拡大に対応した責任ある研究会の運営を図るため、簡略であった研究会会則を全面的に改正・整備し、特に運営委員の選出方法と運営委員会の役割を明確にする。

○研究例会をウィークデーに開催する。

○印刷費、郵送費、交通費の値上がりに対処するため、会費を増額する。

【昭和56年度：『事業活動をとりまく新しい環境と系統農協の対応策』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
117	56. 6. 20	「系統購買事業の競争力をどう強化するか」	和歌山県社会福祉センター	105
118	8. 22	「系統信用事業をめぐる新しい情勢をどう認識するか」	兵庫県農協会館	81
119	11. 7	☆「日本農業に関する『新提言』の検討」	京都府農協会館	96
120	57. 1. 23	「系統信用事業の機能と競争力をどう強化するか」	奈良県農協会館	78
121	2. 27	「系統共済事業の機能と競争力をどう強化するか」	滋賀県農協会館	66

○研究会座長に、例会感想文の執筆を依頼し、会報に掲載する（「座長の事後所感」）。

○研究例会開催曜日を土曜日に戻す。

【昭和57年度：『農協経営刷新強化の課題と方策』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
122	57. 7. 3	「農協経営刷新強化の基本的課題」	大阪府農林会館	78
123	8. 21	「経営環境の変化と事業活動刷新の方向」	滋賀県農協会館	65
124	11. 6	☆「系統農協の『農業振興方策』を検討する」	京都府農協会館	81
125	58. 1. 22	「農協の経営管理面の刷新強化方策の検討」	和歌山市民会館	85
126	3. 5	「農協の経営刷新強化にどう取り組むか」	兵庫県農協会館	72

○「近畿農協研究会・しおり」を作成し、会員の拡大や財政基盤の強化のために活用する。

【昭和58年度：『系統農協の経営刷新をどうすすめるか』】

回数	開催日	テーマ	会場	出席者数
127	58. 7. 2	「系統農協の経営刷新と中央会・連合会の役割」	滋賀県農協会館	50
128	8. 20	「系統経済事業の経営刷新と連合会の課題」	大阪コロナホテル	68
129	11. 19	☆「協同組合運動の可能性をさぐる」	京都府農協会館	83
130	59. 1. 28	「系統共済事業の経営刷新をどうすすめるか」	和歌山県農協会館	121
131	3. 3	「系統信用事業の経営刷新をどうすすめるか」	兵庫県農協会館	68

【昭和59年度：『農協の生活活動をどうすすめるか』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
132	59. 6. 23	「農協の生活活動をどう位置づけるか」	兵庫県農業会館	69
133	8. 25	「店舗購買事業をどうすすめるか」	奈良県農協会館	68
134	10. 27	☆「日本農業の将来を考える」	京都府農協会館	114
135	12. 15	「農協の組織購買事業の再検討 -滋賀県における新予約協同購入運動を中心に-」	大阪府農林会館	65
136	60. 2. 23	「生活指導員の活動をどう考えるか」	和歌山県農協会館	85

○藤谷築次に代わって増田佳昭が事務局長となる。

【昭和60年度：『農協の生活活動をどうすすめるか(2)』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
137	60. 6. 22	「『農協生活活動基本方針(案)』を検討する」	滋賀会館	55
138	8. 24	「組合員の農協生活活動への期待をさぐる」	大阪府青少年会館	52
139	10. 26	☆「『新経営刷新方策』をどうすすめるか」	京都府農協会館	98
140	12. 7	「生活活動の事業論的再検討-生活活動の『採算』をどう考えるか-」	奈良県農協会館	47
141	61. 2. 15	「これからの生活活動をどうすすめるか -2年間の研究例会を総括する-」	和歌山県農協会館	90

【昭和61年度：『農協の組織整備をどう進めるか』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
142	61. 6. 28	「農協の組織整備の課題と方策」	兵庫県農業会館	81
143	8. 23	「系統信用事業の課題と組織整備の基本方向」	鳩の浜荘	43
144	10. 25	☆「日本農業の新局面と農協農政運動の転換方向」	京都府農協会館	75
145	12. 6	「大規模農協の組織・運営問題を考える」	なにわ会館	64
146	62. 2. 7	「農協の組織整備と連合会の役割」	奈良県農協会館	65

○桑原正信に代わって山本修が研究会代表者となり、桑原正信は名誉代表者となる。

【昭和62年度：『農協組織の活性化をどう進めるか』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
147	62. 6. 20	「農協組織活性化のポイントをさぐる」	和歌山県農協会館	108
148	8. 22	「組合員組織対策をどうすすめるか(1)-基礎組織を中心として-」	兵庫県農業共済会館	63
149	10. 17	「組合員組織対策をどうすすめるか(2)-営農面組織を中心として-」	大津市日本生命ビル	36
150	63. 1. 30	☆「農協運動の新たな展開方向をさぐる」	京都府農協会館	77
151	2. 27	「組合員組織対策をどうすすめるか(3)-生活面組織を中心として-」	なにわ会館	54

○150回記念大会を開催する(「農協運動の新たな展開方向を探る」と題して、若手の農協問題研究者の報告をもとに討議)。

○研究会30周年記念事業企画委員会を設置する。記念事業として①記念書物の出版、②記念研究大会の開催、③記念パーティーの開催、④記念会報特集号の発行、を決定し準備に着手する。

【昭和63年度：『農協経営の今日的課題』】

回数	開催日	テ ー マ	会 場	出席者数
152	63. 6. 25	「経済環境の変化と農協経営の基本的問題」	奈良県農協会館	52
153	8. 6	「農協の執行体制のあり方を考える」	和歌山県農協会館	89
154	11. 5	☆「全国農協大会の決議をどういかにするか」	京都府農協会館	71
155	12. 3	「農協の管理職教育のあり方を考える」	兵庫県農業会館	57
156	平成 元. 2. 18	「農協財務管理の新しいあり方」	滋賀県農業教育情報センター	60

○会報の内容を充実し、会員相互の交流と意見発表の場を設けるために、これまでの「農協論壇」、「研究会に寄せる」を発展的に解消させ、「ひろば」のコーナーを新設する。

○研究会運営に関する会員アンケートを実施する。